



マジョリティとマイノリティ

ご存知ですか?『マジョリティは、本来、「多数者」・「多数派」を意味する英語の言葉。反対語は、マイノリティ…/マイノリティは、社会的少数者または社会的少数集団…』とのこと。

とすると、私(わたくし)はマイノリティなのかな…。と言うのは、採用からずっと岩出市・紀の川市で勤務し、教頭になってから和歌山市に赴任した者ですから。ゆえに和歌山市内の教員

や教育委員会の方は、ほとんど知った方はいませんでしたので、自分は社会的少数者ということになるのでしょうか。

No Image

人種や宗教、信条などでこの世の中には様々なマジョリティが存在します。そして通常、標準やきまり、しきたりは数が多いものが決めるようになっています。四箇郷の子どもたちも今後、様々なことから制約されるようになるでしょう。職に就けばなおさらで、それまでの学校生活に比べたら、不条理・不合理なことの多さに驚くかもしれません。そしてそんな場面に出会ったとき、従うか否か、つまり多数の中で静かに我慢するか、または自身の意志を貫き通すか、そんな選択肢を迫られることもあるかもしれません。どちらを選択するのも本人の自由。でも大切なのはその理由です。そのわけ、つまり根拠が必要なのです。ただしんどいから、むかつくから、なんとなくではだめだと断言します。

マジョリティとマイノリティの関係が原因で、身の回りで様々な問題が起こっています。いじめ問題もまたわかり。外国では紛争になっているところもあります。しかし何れにせよ、お互いどんなに「言い分」があっても、その根拠がなければただの「言い訳」ではないでしょうか。子どもたちが今後の人生で、理由ある正しい選択とそれに応じた行動が伴えれば最高です。

No Image